

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書  
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項  
【提出先】 関東財務局長  
【提出日】 2021年1月14日  
【四半期会計期間】 第25期第3四半期(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)  
【会社名】 株式会社イオンファンタジー  
【英訳名】 AEON Fantasy Co.,LTD.  
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤原 信幸  
【本店の所在の場所】 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1  
【電話番号】 043(212)6203(代表)  
【事務連絡者氏名】 取締役 経本部長 井関 義徳  
【最寄りの連絡場所】 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目6番地  
【電話番号】 043(212)6203(代表)  
【事務連絡者氏名】 取締役 経本部長 井関 義徳  
【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第24期 第3四半期 連結累計期間	第25期 第3四半期 連結累計期間	第24期
会計期間		自2019年3月1日 至2019年11月30日	自2020年3月1日 至2020年11月30日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高	(千円)	55,694,580	30,230,868	73,492,760
経常利益又は経常損失( )	(千円)	1,864,039	7,420,101	2,387,388
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失( )	(千円)	112,343	8,556,209	325,107
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	144,763	8,855,005	641,620
純資産額	(千円)	27,625,627	17,490,512	27,128,638
総資産額	(千円)	58,039,384	54,277,344	55,739,580
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失( )	(円)	5.69	433.05	16.47
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	5.68	-	-
自己資本比率	(%)	46.7	31.8	47.8

回次		第24期 第3四半期 連結会計期間	第25期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自2019年9月1日 至2019年11月30日	自2020年9月1日 至2020年11月30日
1株当たり四半期純損失( )	(円)	53.88	72.89

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第25期第3四半期連結累計期間及び第24期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」からの重要な変更があった事項については、当連結会計年度の第2四半期報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年11月30日）における当社及び連結子会社の連結業績は売上高が302億30百万円（前年同期比45.7%減）となりました。営業損失は71億96百万円（前年同期営業利益24億88百万円）、経常損失は74億20百万円（前年同期経常利益18億64百万円）、新型コロナウイルス感染拡大による国内及び海外の店舗休業期間に生じた固定費等42億77百万円の特別損失及び法人税等調整額（益）21億97百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は85億56百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益1億12百万円）となりました。

世界的に広まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、国内、中国及びアセアンの全事業において影響を及ぼしておりますが、段階的に売上の回復が進みました。第3四半期連結会計期間の前年同期比は17.2%減となったものの、第2四半期連結累計期間の前年同期比58.0%減に対して40.8ポイント増となりました。特に中国事業は既に前年を上回る水準まで売上は回復しており、国内事業も防疫対策を継続しながら積極的な売上対策を講じております。アセアン事業においてもフィリピンを除く4ヶ国が営業を再開しており、ベトナムとタイの売上回復が進んでおります。

当第3四半期連結累計期間は8店舗の新規出店をする一方で28店舗を閉店いたしました。これらの結果、2020年11月末の店舗数は国内432店舗、海外428店舗の合計860店舗（直営店850店舗、FC等10店舗）となりました。

#### (国内事業)

国内事業は、新型コロナウイルスに対する防疫対策の徹底を継続し、第3四半期連結会計期間はさらに売上の回復が進みました。10月度の曜日調整後既存店前年比は98.8%とほぼ前年水準まで回復しております。部門別ではプライズ部門が全国的な人気となった「鬼滅の刃」関連景品の展開を強化するとともに、モーリーファンタジー限定で人気キャラクター、お菓子メーカーとのタイアップ景品を積極的に展開したことにより、全体の売上回復に大きく貢献いたしました。メダル部門においては、10月にアクリル板設置による飛沫感染対策を全店完了させるとともに、メダルガラポン等の集客イベントを実施いたしました。こうした取組みにより、第3四半期連結会計期間の既存店前年比は85.2%となり、第2四半期連結累計期間の既存店前年比と比較し42.7ポイント増となりました。

11月18日にオープンしたモーリーファンタジーふじみ野店には、お客さま用の手洗い場、メダル洗浄機、光触媒方式による除菌機、換気促進のためのシーリングファンなどの感染対策設備を導入いたしました。今後も更に安全で安心な売場づくりを目指してまいります。またガチャ専門コーナー「TOYS SPOT PALO」を第3四半期連結累計期間において新たに24ヶ所展開し、11月末時点で44ヶ所となりました。当第3四半期連結累計期間は5店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等8店舗を閉店し、2020年11月末の店舗数はFC2店舗を含め432店舗となりました。

以上の結果、国内事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高252億6百万円（前年同期比43.9%減）、営業損失57億33百万円（前年同期営業利益33億8百万円）となりました。

#### (中国事業)

中国事業は、新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向となり売上回復が進んでおります。特に国慶節を含む10月度の既存店前年比が110.0%と好調に推移したことにより、第3四半期連結会計期間の既存店前年比は102.1%となりました。一方で、店舗勤務時間管理の徹底、賃料減額交渉の継続、本部スタッフの人員削減による本社機能のスリム化など経費削減を徹底し、第3四半期連結会計期間の営業損失は前年同期間と比べ3億80百万円改善いたしました。

当第3四半期連結累計期間は不採算店舗11店舗を閉店し、2020年11月末の店舗数はFC5店舗を含め209店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高43億79百万円(前年同期比31.1%減)、営業損失2億72百万円(前年同期営業損失8億64百万円)となりました。

#### (アセアン事業)

アセアン事業は、11月末時点でマレーシア、タイ、インドネシア、ベトナムが営業再開をしております。ベトナムは順調に売上の回復が進み、11月度は既存店前年比が106.4%となりました。タイも10月に発生した大規模なデモにより一時的に回復が鈍化いたしました。11月度の既存店前年比は87.5%となりました。一方、インドネシアとマレーシアは首都圏を中心に政府の規制による一部店舗の休業など売上に影響を受けており、フィリピンについては全店舗の臨時休業が続いております。

当第3四半期連結累計期間に3店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等9店舗を閉店し、2020年11月末の店舗数はFC3店舗を含め219店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7億60百万円(前年同期比83.7%減)、営業損失11億88百万円(前年同期営業利益47百万円)となりました。

### (2) 財政状態の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、113億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億75百万円減少いたしました。主な内訳は、前連結会計年度末日が金融機関の休日であり、売上預け金のうち2月上旬分が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の減少(17億62百万円)、景品在庫圧縮によるたな卸資産の減少(3億22百万円)、現金及び預金の増加(16億19百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、428億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億87百万円減少いたしました。主な内訳は、投資の抑制による遊戯機械の減少(14億9百万円)及び建物の減少(9億83百万円)、使用権資産の減少(9億47百万円)、投資その他の資産その他(繰延税金資産)の増加(21億74百万円)であります。

この結果、総資産は542億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億62百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、289億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億48百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加(99億89百万円)、未払費用の増加(6億50百万円)、在外連結子会社における1年内返済予定の長期借入金の減少(6億69百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、78億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億72百万円減少いたしました。主な内訳は、在外連結子会社におけるリース債務の減少(10億80百万円)及び長期借入金の減少(5億41百万円)であります。

この結果、負債合計は367億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ81億75百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、174億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ96億38百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(85億56百万円)、剰余金の配当による減少(7億90百万円)であります。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	19,762,025	19,762,025	株式会社東京証券取引所(市場第一部)	単元株式数 100株
計	19,762,025	19,762,025		

(注) 提出日現在発行数には、2021年1月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月1日～ 2020年11月30日	800	19,762,025	420	1,798,427	420	4,784,374

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,712,900	197,129	
単元未満株式	普通株式 46,825		
発行済株式総数	19,761,225		
総株主の議決権		197,129	

## 【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社 イオンファンタジー	千葉県美浜区中瀬 一丁目5番地1	1,500		1,500	0.01
計		1,500		1,500	0.01

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,132,140	5,751,202
売掛金	261,475	170,479
売上預け金	1, 2 2,904,421	1, 2 1,141,926
たな卸資産	2,797,910	2,475,825
その他	1,769,536	1,850,837
流動資産合計	11,865,484	11,390,271
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,896,962	5,913,174
遊戯機械(純額)	22,869,636	21,460,579
使用権資産(純額)	5,067,528	4,119,966
その他(純額)	2,161,568	2,159,421
有形固定資産合計	36,995,695	33,653,141
無形固定資産		
のれん	242,796	185,783
ソフトウェア	772,013	942,113
その他	4,420	4,533
無形固定資産合計	1,019,231	1,132,430
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,221,254	4,294,188
その他	3 1,637,915	3 3,807,311
投資その他の資産合計	5,859,169	8,101,500
固定資産合計	43,874,096	42,887,072
資産合計	55,739,580	54,277,344



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	1,160,533	1,497,751
短期借入金	5,402,819	15,392,283
1年内返済予定の長期借入金	2,868,614	2,199,295
リース債務	2,028,102	1,865,488
未払費用	1,677,617	2,327,854
未払法人税等	563,134	454,875
賞与引当金	339,572	416,654
役員業績報酬引当金	19,676	9,069
閉店損失引当金	56,552	35,325
設備関係支払手形	1,866,948	1,884,244
その他	3,084,888	2,833,915
流動負債合計	19,068,459	28,916,757
<b>固定負債</b>		
長期借入金	4,466,085	3,924,197
リース債務	3,854,006	2,773,937
退職給付に係る負債	371,690	352,574
資産除去債務	610,326	611,969
その他	240,373	207,395
固定負債合計	9,542,482	7,870,074
負債合計	28,610,942	36,786,831
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,785,403	1,798,427
資本剰余金	4,804,046	4,817,070
利益剰余金	20,644,877	11,298,519
自己株式	3,190	3,370
株主資本合計	27,231,138	17,910,646
<b>その他の包括利益累計額</b>		
為替換算調整勘定	401,806	477,742
退職給付に係る調整累計額	190,896	170,023
その他の包括利益累計額合計	592,703	647,766
新株予約権	67,389	48,551
非支配株主持分	422,814	179,080
純資産合計	27,128,638	17,490,512
負債純資産合計	55,739,580	54,277,344

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	55,694,580	30,230,868
売上原価	49,029,518	33,885,663
売上総利益又は売上総損失( )	6,665,062	3,654,795
販売費及び一般管理費	4,176,196	3,541,823
営業利益又は営業損失( )	2,488,865	7,196,619
営業外収益		
受取利息	56,625	61,117
為替差益	-	23,003
受取保険金	30,789	17,323
固定資産売却益	3,021	393
預り金受入益	20,865	18,877
リース解約益	-	243,297
その他	36,632	63,764
営業外収益合計	147,933	427,776
営業外費用		
支払利息	574,740	599,738
為替差損	26,703	-
固定資産売却損	141,395	34,014
その他	29,921	17,505
営業外費用合計	772,759	651,258
経常利益又は経常損失( )	1,864,039	7,420,101
特別利益		
店舗家賃免除益	-	1 956,042
雇用調整助成金	-	2 510,314
特別利益合計	-	1,466,356
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	18,956	27,830
減損損失	3 562,469	3 351,248
店舗閉鎖損失	20,809	83,896
店舗休止損失	-	4 4,277,371
感染症対策費	-	121,658
特別損失合計	602,234	4,862,005
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,261,804	10,815,750
法人税、住民税及び事業税	1,395,361	166,137
法人税等調整額	229,756	2,197,466
法人税等合計	1,165,604	2,031,329
四半期純利益又は四半期純損失( )	96,199	8,784,420
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	16,143	228,211
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	112,343	8,556,209

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	96,199	8,784,420
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	249,725	91,457
退職給付に係る調整額	8,762	20,873
その他の包括利益合計	240,963	70,584
四半期包括利益	144,763	8,855,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,435	8,611,272
非支配株主に係る四半期包括利益	30,328	243,733

【注記事項】

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：有形固定資産の減損テスト)

当社グループは、当四半期連結会計期間末日現在、有形固定資産33,653,141千円を計上しており、資金生成単位グループより生じることが予想される将来キャッシュ・フロー及び現在価値の算定をするために割引率を見積り、有形固定資産の減損テストを実施しております。

当社グループは、有形固定資産の減損テストにおける予想される将来キャッシュ・フローの見積りに、各地域の新型コロナウイルス感染症の影響として、行政当局の要請による臨時休業期間の予測及び営業再開後の売上高回復予測などの仮定を含めております。また複数のシナリオに基づく感応度分析を実施しております。具体的には、営業再開した店舗の売上高について当連結会計年度中に回復すると仮定しておりましたが、各地域の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、一部地域は翌連結会計年度中に回復するとの仮定へと変更し、有形固定資産の減損テストにおける予想される将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 売上預け金

ショッピングセンターの店舗賃貸人に預けている売上代金であります。

2. 四半期連結会計期間末日が休日のため増加した主な資産

前連結会計年度末日が金融機関の休日のため、下記の科目に含まれている翌営業日に決済された金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
売上預け金	2,184,993千円	- 千円

3. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
投資その他の資産	2,717千円	2,717千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 店舗家賃免除益

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年11月30日)

新型コロナウイルス感染症の影響により、ショッピングセンターの店舗賃貸人から免除された家賃相当額を店舗家賃免除益として特別利益に計上しております。

2. 雇用調整助成金

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年11月30日)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例処置によるものであります。

### 3. 減損損失

前第3四半期連結累計期間（自2019年3月1日 至2019年11月30日）

以下の資産グループにおいて減損損失を計上しております。

減損損失を認識した資産グループの概要

用途	地域	店舗数	種類	金額(千円)
店舗	国内	13	建物等	53,952
			有形固定資産その他	10,163
			小計	64,116
	中国	22	建物等	323,656
			遊戯機械	76,778
			使用権資産	34,575
			有形固定資産その他	1,334
			ソフトウェア	1,294
			小計	437,638
	マレーシア	10	建物等	15,979
			遊戯機械	6,236
			有形固定資産その他	5,649
			ソフトウェア	44
			小計	27,910
	ベトナム	1	建物等	7,021
小計			7,021	
	店舗計	46	店舗計	536,686
その他	マレーシア	-	有形固定資産その他	25,600
			ソフトウェア	181
			小計	25,782
	その他計	-	その他計	25,782
	合計	46	合計	562,469

#### 減損損失の認識に至った経緯

当第3四半期連結累計期間において、営業活動から生じるキャッシュ・フローが継続してマイナス又は継続してマイナスとなる見込みである資産グループ、閉店の意思決定を行った資産グループ、将来の使用が見込まれない遊休資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

#### 減損損失の金額及び主な固定資産の種類ごとの当該金額の内訳

種類	金額(千円)
建物等	400,610
遊戯機械	83,014
使用権資産	34,575
有形固定資産その他	42,747
ソフトウェア	1,520
合計	562,469

#### 資産のグルーピングの方法

当社グループは事業用資産について、主として店舗を基本単位としてグルーピングしております。

回収可能価額の算定方法

当社グループは資産グループの回収可能価額を使用価値又は正味売却価額により算定しております

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年11月30日)

以下の資産グループにおいて減損損失を計上しております。

減損損失を認識した資産グループの概要

用途	地域	店舗数	種類	金額(千円)
店舗	国内	7	建物等	19,192
			有形固定資産その他	472
			ソフトウェア	1,478
			小計	21,143
	中国	18	建物等	25,343
			遊戯機械	53,291
			使用権資産	41,885
			有形固定資産その他	2,060
			ソフトウェア	622
			小計	123,204
	フィリピン	10	建物等	56,060
			遊戯機械	6,137
			使用権資産	26,126
			有形固定資産その他	7,454
			小計	95,779
	タイ	2	建物等	7,128
			遊戯機械	23,159
			小計	30,288
	インドネシア	4	建物等	38,925
			遊戯機械	33,745
			有形固定資産その他	2,257
小計			74,928	
店舗計		41	店舗計	345,343
その他	マレーシア	-	有形固定資産その他	4,105
			小計	4,105
	タイ	-	有形固定資産その他	1,799
			小計	1,799
	その他計	-	その他計	5,905
合計		41	合計	351,248

減損損失の認識に至った経緯

当第3四半期連結累計期間において、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナス又は継続してマイナスとなる見込みである資産グループ、閉店の意思決定を行った資産グループ、経営環境が著しく悪化する見込みである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

減損損失の金額及び主な固定資産の種類ごとの当該金額の内訳

種類	金額(千円)
建物等	146,650
遊戯機械	116,333
使用権資産	68,011
有形固定資産その他	18,150
ソフトウェア	2,101
合計	351,248

資産のグルーピングの方法

当社グループは事業用資産について、主として店舗を基本単位としてグルーピングしております。

回収可能価額の算定方法

当社グループは資産グループの回収可能価額を使用価値又は正味売却価額により算定しております。

4. 店舗休止損失

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年11月30日)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組として、政府及び各自治体からの営業自粛要請や緊急事態宣言を受け、当社グループにおいて店舗施設を臨時休業いたしました。この臨時休業期間中の固定費等を店舗休止損失として特別損失に計上しており、報告セグメントごとの主な内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

内訳	報告セグメント			
	国内	中国	アセアン	計
休止店舗の人件費	1,271,020	173,342	301,502	1,745,864
休止店舗の地代家賃	265,968	137,282	93,351	496,601
休止店舗の減価償却費	819,759	324,831	534,431	1,679,021
休止店舗の店舗維持費等	258,336	10,785	86,760	355,883
計	2,615,084	646,241	1,016,045	4,277,371

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
減価償却費	7,969,967千円	7,873,008千円
のれんの償却額	49,726	48,049

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 配当金支払額

2019年4月10日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	493,173千円
1株当たり配当額	25円
基準日	2019年2月28日
効力発生日	2019年4月26日
配当の原資	利益剰余金

2019年10月9日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	493,755千円
1株当たり配当額	25円
基準日	2019年8月31日
効力発生日	2019年11月1日
配当の原資	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 配当金支払額

2020年4月10日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	493,753千円
1株当たり配当額	25円
基準日	2020年2月29日
効力発生日	2020年4月28日
配当の原資	利益剰余金

2020年10月7日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	296,394千円
1株当たり配当額	15円
基準日	2020年8月31日
効力発生日	2020年10月30日
配当の原資	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,659,665	6,355,457	4,679,457	55,694,580	-	55,694,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	234,920	-	-	234,920	234,920	-
計	44,894,585	6,355,457	4,679,457	55,929,501	234,920	55,694,580
セグメント利益又は損失( )	3,308,660	864,156	47,447	2,491,951	3,085	2,488,865

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント64,116千円、「中国」セグメント437,638千円、「アセアン」セグメント60,714千円の減損損失を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,090,973	4,379,268	760,626	30,230,868	-	30,230,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	115,503	-	-	115,503	115,503	-
計	25,206,476	4,379,268	760,626	30,346,371	115,503	30,230,868
セグメント損失( )	5,733,789	272,782	1,188,655	7,195,227	1,391	7,196,619

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント21,143千円、「中国」セグメント123,204千円、「アセアン」セグメント206,900千円の減損損失を計上しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失( )	5円69銭	433円05銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	112,343	8,556,209
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	112,343	8,556,209
普通株式の期中平均株式数(株)	19,742,959	19,758,181
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	5円68銭	
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	30,386	19,094
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

(剰余金の配当)

2020年10月7日開催の取締役会において、2020年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| (1) 配当金の総額            | 296,394千円   |
| (2) 1株当たりの金額          | 15円00銭      |
| (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 2020年10月30日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年1月13日

株式会社イオンファンタジー  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	杉	本	健太郎
--------------------	-------	---	---	-----

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	隅	田	拓也
--------------------	-------	---	---	----

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社イオンファンタジーの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社イオンファンタジー及び連結子会社の2020年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。